

2022年3月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 3月えんだより

3月聖句：「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

＜マタイによる福音書第28章20節＞

今年の冬は、寒い日々を過ごしています。立春を過ぎても変わらない気候の中で、街や公園の木々をよく見てみますと、木々の冬芽が、春の訪れを感じさせてくれます。2021年度も節目を迎える3月になりました。クラス、学年の締めくくりの時です。一人一人の子ども達の姿を振り返りながら、次の学年へと送り出していきます。

3月の聖書の言葉は、現代の子ども達に対して、大人の姿勢を示唆するメッセージとも受け取れます。イエスによって命を守られ、助けられ、救われ、信じてきた弟子達が、イエスが十字架に付けられるや否や、怖くなって、見捨てて逃げ出したのです。そして、復活したイエスと再会した時に、ひざまずいて、拜んでいました。後悔の念を抱く者もいたでしょうし、恐怖におののく者、再会に喜ぶ者もいる中で、疑っている弟子がいたと聖書には記されています。目に見える態度では、ひれ伏し、内心は違う弟子がいても、イエスご自身から近寄って来られ、疑う者も含めた弟子達全てに向けて、「私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」と告げられたのです。イエスは、裏切ったことを責めることもせず、疑いに触れず、親しく近づき、等しく告げられました。

子ども達は、純粋な心で今を生きており、ある時は、褒められ、叱られ、泣き、笑い、そして大きくなっていきます。子ども達が自分の思い通りにならないことも、又大人の思い通りにならない道も歩みます。イエスが、最後に命じられたのは「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。あなたの隣人を自分のように愛しなさい。」(マタイ22:37-39)でした。弱い立場にある人を気遣い、苦しい思いをしている人と共に日々の生活の中で、イエスの言葉を思い起こし応えていく。そのように歩む日々の中で、私たちは共にいて下さる神様の力強さと慰めを胸にして、私達に近づいて来てくださる神様とこれからも共に歩んでいきたいと思えます。

最後になりますが、長期にわたり、感染症拡大の中で、本来、保育の必要な皆様に、教育・保育の場を提供していくことが、施設の使命の一つであります。しかし登園自粛や家庭保育の要請をしてきたことに恐縮しておりますし、ご協力いただきましたことを感謝いたします。安全に安心して生活する場と学びの場を提供する意味において、評価を繰り返しつつ、歩みたいと思えます。皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

年主題 『共に喜んで』～ すべての歩みの中 ～

| 3月   | 乳児 (0,1,2 歳児)   | 幼児 (3,4,5 歳児)  |
|------|---|--|
| 月主題  | おおきくなった   | 心はずませて   |
| 月の願い | <ul style="list-style-type: none"> <li>*大きくなったことを喜ぶ</li> <li>*自分でできるという気持ちや、したいという意欲を持つ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>*神様の守りの中で、大きくなったことを喜び、感謝する</li> <li>*新しい生活へ安心して向かおうとする</li> <li>*友だちと協力し、アイデアを出し合い、工夫してあそびを充実させる</li> </ul> |
| 讚美歌  | つくしのよう  | つくしのよう 幼児讚美歌 58  |